

週末ウォーキングのポイント

◆絶景スポットの撮影の仕方

最近のデジカメは安価で高性能なので、手軽に高品質の写真撮影が可能になりました。さらにパソコン編集を加えれば、プロカメラマンの写真と比べても遜色がない作品が簡単に出来上がります。

名所の写真であれば、雑誌やホームページで調べれば、おのずと撮影箇所と構図がわかります。でも、それだけでは普通の観光写真になってしまいます。私の場合はホームページ作成が目的なので、その場のカメラマンや散策等で訪れた人々も写真に入れて、少しでも、読者にその場の雰囲気が伝わるような写真を心がけています。最近では、ビデオ撮影で動画も取り入れ、さらに臨場感が伝わればとがんばっています。

◆コースの決め方

最初に歩いてみたい場所とコースを決めてから、歩く時間と想定距離、写真の撮影ポイントなどの情報を調べることが大切です。実際に歩いてみると、事前に調べたイメージと違うことがあります。それでも、新たに発見する喜びのほうが多いと思います。

コースポイントの重要な情報源として、県のホームページ（都市計画・かながわの景観）や神奈川観光協会のホームページ「観光かながわNow」を利用しています。また、新聞記事やテレビ放映された情報を活用することもあります。コースルートについては、市販されているウォーキングガイド、歴史散策などのガイドブックで十分でしょう。

プロフィール●1945年生まれ。妻と横浜市に在住。コンピュータの基礎を学び、ソフト業界の仕事に携わって約40年。健康と読書のリフレッシュを兼ね、文字通り「週末のウォーキング」と「ホームページづくり」を生きがいとして、人生を楽しんでいる。

西田忠夫



風光明媚な神奈川の地を歩いて

10年前、自宅のある相鉄沿線界隈を歩くホームページ「週末ウォーキング」を立ち上げました。その後、行動範囲を横浜市内に広げたウォーキング紹介に発展させました。

さらに、神奈川県内のウォーキングを意識すると、たまたま本屋で神奈川県観光協会発行の「神奈川県観光ガイド」と出会い、「かながわの景勝50選」「かながわの公園50選」「かながわの古道50選」などの選定地情報を知りました。現在では、神奈川県内を歩くときには必ず、この「選定地」を意識してホームページの更新を続けています。

本誌「ヴィサン」では1000号から、企画ページとして同名の連載を

担当し、取材のため、もう一度同じ場所を歩きました。以前の情報にも増して、より多くのコース情報と美しい写真を掲載することができたと自負しています。これも、読者の皆様のご意見、ご感想、励ましの声があったからこそと感謝しております。

海・山・湖など風光明媚な自然に恵まれ、都市生活の便もよい神奈川県。どの街も自然も、週末のひとつきをウォーキングという余暇で過ごす私を、いつもやさしく迎えてくれました。カメラを向け、写真に収めた思い出のシーン、道行く人々との多くの出会いもまた、私の尊い財産です。

長い間、ありがとうございました。



赤レンガ倉庫と富士山（大さん橋ふ頭）



明神ヶ岳山頂



倉戸の夕日（かながわの景勝50選）